

令和 8年度予算見積調書(6月補正予算)

課室名: みどり自然課
 担当名: 野生生物担当
 内線: 3154

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
P28	生物多様性保全総合対策事業費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	生物多様性保全推進事業費	
事業期間	昭和38年度～	根拠法令	生物多様性基本法、生物多様性国家戦略、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律		針路分野施策	10 豊かな自然と共生する社会の実現 1003 生物多様性の保全	SDGsゴール	15, 17 SDGsターゲット 15-1, 15-2, 15-3,
1 事業概要	特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」による被害が急拡大している状況を踏まえ実施した緊急調査の結果、早急に対策が必要な県管理施設での緊急防除を実施する。 県管理施設クビアカツヤカミキリ緊急対策事業 513,710千円		5 事業説明 (1) 事業内容 県管理施設クビアカツヤカミキリ緊急対策事業 513,710千円 緊急調査の結果、早急に対策が必要な県管理施設(136施設及び道路・河川)での緊急防除を実施する。 (2) 事業計画 ア 被害木伐採防除 357,380千円 幼虫の侵入による被害が甚大(フラス穴10個以上等)である場合は、伐採・処分による防除を行う。 イ 農薬散布・注入 120,330千円 アに該当しない場合は、農薬による防除を行う。 ウ 県管理道路・河川被害判定調査 36,000千円 県管理道路・河川における被害木について、防除方策(伐採/農薬)を見極めるための調査を行う。 (3) 事業効果 【活動指標(アウトプット)】 県管理施設での被害対策済み樹木数 136施設及び道路・河川 約6千本 【成果指標(アウトカム)】 県管理施設での被害の拡大抑止 136施設及び道路・河川 クビアカツヤカミキリによる新規被害木の減少 (4) 県民・民間活力・職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 県管理施設実務担当者研修会を通じた、職員による被害状況の把握・クビアカツヤカミキリ防除の実施					
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)							
3 地方財政措置の状況	特別交付税措置 特定外来生物の防除等の対策に要する経費							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	(1) 人件費(既存分)9,500千円×1.4人=13,300千円 (2) 人件費(増員分)補正予算に伴う増員 なし (3) 組織の新設・改廃 なし							
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	513,710	繰入金	513,710				0	602,543
現計額	88,833		2,900				85,933	

事業内訳書

事業名	生物多様性保全総合対策事業費		
単位事業名	県管理施設クビアカツヤカミキリ緊急対策事業	予算額	513,710千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 彩の国みどりの基金繰入金	513,710	—	
合計	513,710	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	513,710	—	県管理施設における緊急防除の実施
合計	513,710	—	